



## (2) 児童の実態

社会的事象に関心をもち、調べ活動に意欲的に取り組もうとする子どもが多い。前单元「食料生産を支える人々」の学習においては、米づくりの盛んな地域を取り上げて、米づくりの過程や米づくりに対する思いや願いなどについて調べた。また、これからの食料生産の問題点を、個人で追究し調べる活動を行ってきた。

「世界とつながる自動車」の学習では、各種資料から世界との貿易の現状やこれからの貿易の在り方について読み取り、考えを深めることができた。

しかし、これまでの「食料生産を支える人々」の学習や「世界とつながる自動車」などの学習をとおして、次の2点が当学級の課題であると考えられる。

- ① 一つの資料から社会的事象を調べることはできるが、複数の資料を活用し関連させながら考えることができない。
- ② 調べた事柄を関連付けて考えることで、新たな事実を発見したり自分の考えをもったりすることができない。

これらのことから、本单元では、社会的事象を多面的な視点でとらえ、諸々の内容を関係付けて考える力を子どもたちに身に付けさせていかなければならないと考える。

## (3) 指導の構想

### ① 指導の方向性

本单元の指導においては、実物や具体的な資料、分布図、統計資料、地図帳などを積極的に活用し、子どもたちの資料活用能力を高める。また、いくつかの社会的事象を関連付けながら子どもが思考を深めていくように、個や集団での学びの形態を工夫する。

### ② 自身の授業改善との関連

子どもたちが自分の身の回りと関連付け、学ぶ意欲とスキルを高めることで確かな学力を身に付けるために、指導法の工夫・改善を目指して、次の3点から取り組んでいく。

#### ㊦ 教材と自分をかかわらせる工夫

単元の導入段階で、身の回りの工業製品を調べる活動を置く。具体的には、自身の持ち物、あるいは、家庭にあるちらし広告などから製品を分類したり、生産国を調べたりする活動である。自分の生活から学ぶ活動を取り入れることで、教材と自分のかかわりを深められるようにする。

#### ㊧ 社会的事象を多面的にとらえさせる工夫

資料をしっかりと読み取らせるために、資料から読み取れることをノートやワークシートにまとめ、思考を整理する場を設けるようにする。また、複数の資料を提示し、それらを比較し関連させて考えるようにすることで、一つの資料からでは分からない社会的事象を、多面的にとらえられるようにする。

#### ㊨ 話し合い活動の工夫

話し合いの際には柱を明確に示して、子どもたちが話し合う必然性をもって臨めるようにする。また、子どもたちの考えの「ズレ」を生じさせ、話し合いの活性化を図るようにする。

## 5 単元の指導計画（全8時間）

時	学習のねらい（○）と主な活動内容（・）	評 価				
		関	表	技	知	評価規準
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>○身の回りにある工業生産を調べたり、グラフを読み取ったりする活動を通して、日本の工業の種類や特色について関心をもつことができる。</li> <li>・身の回りの工業生産をちらし広告や自身の身の回りから調べる。</li> <li>・グラフから日本の工業生産の変化を読み取る。</li> </ul>	○				身の回りにはどんな種類の工業生産があるのか関心をもって調べようとしている。

2	<p>○東京湾を事例に、工場が集まっている地域の様子や工業地域の特色について調べることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地図帳や写真資料などを活用しながら、工業地域や工業地帯の立地条件などを整理する。</li> </ul>			○	○	工業が盛んな地域の特徴を、地図やグラフから読み取っている
3	<p>○日本の工業地帯や工業地域の分布（主に海沿いに発展している場所）について資料や地図帳などで調べ、その特色を理解することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・海ぞいに広がる工業地域の資料を基に「太平洋ベルト」などを中心に日本の主な工業地域や工業地帯は、海ぞいに広がっていることを調べノートにまとめる。</li> <li>・各工業地帯・地域の主な生産品を調べる。</li> </ul>			○	○	工業の盛んな地域の分布やそれらの地域での生産の様子について、地図やグラフから読み取っている。
<b>4 本 時</b>	<p>○海沿いに発展してきた日本の主な工業地帯・地域の特色を基に、内陸にも工業地域が広がってきている理由について話し合い、自分の考えをもつことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・三大工業地帯の航空写真と、内陸工業地域の航空写真を見比べ、違いを調べる。</li> <li>・内陸に工業地域が発展してきた理由を、資料をもとに考え、話し合う。</li> </ul>			○	○	工業が盛んな地域の条件について、土地の状況や交通網、などとかかわらせて多面的にとらえ、表現している。
5	<p>○中小工場が多くある、東京都大田区の様子を調べ、働く人の工夫や努力に気付くとともに、日本の中小工場が高い技術をもっていることをとらえることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中小工場のイメージを話し合う。</li> <li>・学習を通して、中小工場について思ったこと、考えたことをまとめる。</li> </ul>			○	○	働く人の工夫や努力により、世界に通用する高い技術力をもつ中小工場があることをとらえている。
6	<p>○表やグラフから、中小工場と大工場の違いや特色について調べ、まとめることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・それぞれの特色を調べ、発表する。</li> <li>・中小工場が生産を続け行くための工夫や努力について分かったことを話し合う。</li> </ul>			○	○	グラフから読み取った中小工場と大工場の違いから、それぞれの特色や関係について考え、表現している。
7	<p>○身近な地域にあるまち工場について調べ、その工業ならではの生産に取り組む様子や働く人たちのものづくりにかける思いをとらえることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昔からの技術を生かした製品について、良い点、悪い点を話し合う。</li> </ul>			○		中小工場の生産品の質や技術の高さを予想し、どんなことに気を付けて生産しているか表現している。
8	<p>○人の心を豊かにする工業の大切さに気付き、その役割や意味について友達と考え合うことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・さまざまな工業製品のよさや役割を調べる。</li> <li>・人々が楽しむための工業製品の写真から、その意義を話し合う。</li> </ul>			○	○	これからの工業生産に求められることを理解している。

## 6 本時の活動

### (1) 本時のねらい

内陸部に新しい工業が広がる理由について、これまでの日本の工業地帯や工業地域の分布の特色と比較しながら、工業製品の特性や土地の条件、交通網などとかかわらせて考えることができる。

### (2) 本時の構想

#### ① 複数の資料を提示し比較させる

本時では、社会的事象を多面的な視点でとらえる力を付けさせるために、複数の資料を提示する。

まず初めに、日本の三大工業地帯と、内陸で発達してきた工業地域の航空写真を提示し比較をさせる。このことにより子どもたちの既習事項である「工業の発達の条件として海や都市部が近い」という認識に「ズレ」を生じさせたい。そして内陸で発達している工業地域の主な製品となるICとその特性を教え、「なぜ内陸でICが作られるようになったのか」を子どもたちに考えさせる。その際、内陸工業地域の航空写真に加え、日本の高速道路網や空港位置の分かる地図なども資料として配付する。子どもたちは、それらの資料や、これまでに学んだ工業地帯・地域が発達する要因などをかかわらせながら、なぜ内陸でICが作られるようになったかを考えるようになる。

その際、子どもたちに主にとらえさせたい内容は以下の通りである。

- ・ ICは小型のため、大量の原材料を必要としない。(大型タンカーで運ぶ必要がない。)
- ・ ICは高価であるため、高速道路や飛行機などで輸送することができる。  
(単価が高く一度に大量輸送できるため、一個当たりの輸送コストが低くなる。)

このように、まず工業製品の特性を第一にとらえさせ、生産の場所として海沿いではなく、内陸が選ばれていった要因に迫るようにしていきたい。

#### ② 検討させ、考えを広げさせる

内陸でICが作られるようになった理由について、個人で調べ付箋に記入した後、班で自分の考えを検討する場を設ける。それは、一人一人の話す場を確保するとともに、他者の考えに触れることで、自分の考えをより広げていくことができるからである。その際、班で出された様々な考えを、画用紙に分類させるようにする。また、分類したものにはネーミングをさせ、多様な考えを整理するとともに、子どもたちの考えを視覚的にとらえることができるようにする。

まとめとして、班の代表者の発表の後には学級全体でも意見を検討する場を設け、工業製品の特性をまず第一に、その他いくつかの条件が関連しながら、内陸部での工業が発展していったことを子どもたちにとらえさせたい。

### (3) 展開

学習内容・活動	主な教師の働きかけと児童の反応	指導上の留意点と評価
・これまでの学習（日本の主な工業地帯は、製品の特性や輸送、人員の確保のために海沿いに発展してきたこと）を想起する。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">T 1 それぞれの工業地帯を言いましょう。</div> <p>C 京浜工業地帯 C 阪神工業地帯 C 中京工業地帯 ※主な生産品も確認する。</p>	・地図で位置を確認しながら進める。 ・太平洋ベルトについても確認する。  ・各工業地帯の航空写真を提示し、前時に整理した特色について振り返る。
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">T 2 三大工業地帯には、どんな特徴がありましたか。</div> <p>C 海が近くにあって埋立地になっている。 C 大都市に近い。 C 石油タンクがたくさんある。</p>	

○ なぜ、このような場所で工業が発展してきたのか、既習事項を確認する。

・内陸工業地域の資料を提示し、周囲に海のない内陸部の工業の特色を考える。

T 3 これまで学習してきた工業地域・地帯以外にも、広がりを見せている場所があります。この2つの資料から、気付いたことを発表しましょう。(資1：白地図、資2：航空写真)

- C 回りに海がない。
- C 回りには山がある。
- C 大きなタンクがない。

補足説明：内陸工業地域の航空写真と実際に作られているICチップを提示し、主な主産業が精密機械工業であることをとらえさせる。

・内陸でICが作られるようになった理由を個人で考えた後、グループ内で理由の分類をする。

T 4 なぜ内陸でICが作られるようになったのか考えてみよう。(資料付きワークシート)

- C ICチップはとても小さいので、その分原料も少なくて済むと思う。だから、海沿いでタンカーに運ばれてくるような材料が必要ない。
  - C ICは小さくて高価だから、船で運ぶ必要がなく、高速道路や飛行機で運ぶことができるから。
  - C まだまだ内陸にはたくさん土地があるから。
  - C 空気や水がきれいな環境が必要だから。
  - C 製品が小さくて、機械で作っているようだし、あまり人手がいないから。
- グループ内で、理由を分類させ、画用紙にまとめさせる。(グループの代表による発表)

T 5 今日の学習で分かったことや気付いたことをまとめましょう。

・分かったことや感想をまとめる。

- C ICは小さくて、とても値段が高い製品だから、高速道路や飛行機でたくさん運べる。そのため、これまでの工業地帯でなく、内陸に工業が発展した。

・海沿いではない地域でも工業が盛んなのかな、という疑問をもたせ、子どもの考える意欲を高めさせる。

・実際にICチップを提示することで、軽量で、かつ精密なものであることを意識付ける。また、ICが身近な電化製品にも組み込まれていることを紹介する。

・ワークシートや資料コーナーに掲載する資料は以下の通りとする。

- ① ICチップの説明
- ② ICの価格、重さ(リップとの比較)
- ③ ICの用途
- ④生産者の話(環境に関する話)
- ⑤内陸工業地域の航空写真
- ⑥日本の高速・航空路図
- ⑦熊本空港周辺の航空写真

・付箋に記入させる。  
・付箋をうまく分類できない班には、他の班の一例を紹介するなどの支援を行う。

【評価】ワークシート・発言内陸部に新しい工業地帯が広がる理由について、工業製品の特性や土地の条件、交通網などかかわらせて考えることができる。(表)

【参考資料一覧】 ※以下の資料を授業のねらいに合わせて一部書き改め、授業に用いた。

◆工業地域の立地に関する資料

小学社会科 5年 P122 ~ P123, P138 ~ P139 (教育出版)

社会科資料集 5年 P78 ~ P79 (教育同人社)

◆内陸工業地域に関する資料 (岩手県金ケ崎町に関するもの)

<http://www.town.kanegasaki.iwate.jp/06kigyuu/02shoukougyuu/kigyoyuti07.html>

<http://www.town.kanegasaki.iwate.jp/06kigyuu/02shoukougyuu/syoukaipanhu1009.pdf#search>

= '岩手県 金ケ崎町の工業団地'

◆ICチップに関する資料

<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E9%9B%86%E7%A9%8D%E5%9B%9E%E8%B7%AF>